



平成 29 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 トモニホールディングス株式会社
 代表者名 取締役社長兼CEO 遠山 誠司
 (コード番号 8600 東証第一部)
 問合せ先 常務取締役経営企画部長 藤井 仁三
 (TEL 087-812-0102)

平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 5 月 15 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)の連結業績予想につきまして、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。なお、通期(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)の連結業績予想につきましては、平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間の決算発表時にお知らせいたします。

記

1. 修正の内容

平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日) (百万円)

	経常利益	親会社株主に帰属する 中間純利益
前 回 予 想 (A)	5,500	3,500
今 回 修 正 予 想 (B)	8,750	5,850
増 減 額 (B-A)	3,250	2,350
増 減 率 (%)	59.0	67.1
(参考) 前期実績(平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	7,930	20,075

2. 修正の理由

当社の銀行子会社 3 行において、資金利益が当初予想を上回る見込となったことや与信関連費用が当初予想を下回り貸倒引当金戻入益を計上する見込となったこと等により、平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想を上方修正するものであります。

なお、親会社株主に帰属する中間純利益が前年同期に比べて大幅に減益となる見込であります。これは前期に大正銀行との経営統合に伴い特別利益として計上した負ののれん発生益 14,849 百万円がなくなったことを主因とするものであり、これを控除した場合、前年同期に比べて増益となる見込であります。

<参考：平成 29 年 5 月 15 日公表>

銀行子会社 3 行の平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)の業績予想 (百万円)

	経常利益	(親会社株主に帰属する) 中間純利益
徳島銀行(連結)	前 回 予 想	1,750
	今 回 修 正 予 想	2,650
徳島銀行(単体)	前 回 予 想	1,750
	今 回 修 正 予 想	2,650
香川銀行(連結)	前 回 予 想	1,450
	今 回 修 正 予 想	2,150
香川銀行(単体)	前 回 予 想	1,400
	今 回 修 正 予 想	2,150
大正銀行(連結)	前 回 予 想	140
	今 回 修 正 予 想	600
大正銀行(単体)	前 回 予 想	140
	今 回 修 正 予 想	600

以 上

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。